

日本医師会
「生命(いのち)を見つめるフォト&エッセー」
(フォト部門) 入賞作品

宮城県医師会会員による作品
ジョイント写真展の開催について

公益社団法人宮城県医師会



日本医師会「生命(いのち)を見つめるフォト&エッセー」 (フォト部門) 入賞作品 宮城県医師会会員による作品ジョイント写真展の開催

【事業概要】

開催期間：毎年11月ころ、5日程度

開催場所：せんだいメディアテーク

対象者：県民の皆さま

参加費：無料

目的：対外的目的としては、県民に医師会の存在を知っていただくとともに親しみを持ってもらうことが挙げられる
(日本医師会作成の動画も会場で流している)

また、対内的理由としては、会員の先生の趣味の発表の場を設けることで医師会活動への理解を深めていただく点がある

これまでの開催実績

平成13年度～

日本医師会「生命(いのち)を見つめるフォト & エッセー」 （フォト部門）
入賞作品の展示



平成15年度～

本会会員による作品も募集し、ジョイント展として開催



平成18年度～

来場者を相互に増やすことを目的に、仙台市医師会主催の医家芸術祭と
開催期間・開催場所（展示スペースは別）を同じにして開催

**「生命(いのち)を見つめるフォト & エッセー」は23回、本会会員の作品展示は20回と
四半世紀近い積み重ねのある展示イベントとなっている。**

これまでの開催実績（直近3年間）

直近3年間の開催日・入場者数

R4年度：令和4年10月27日（木）～10月31日（月）

入場者数378名 ※R4年度は宮城県民会館で実施

R5年度：令和5年11月17日（金）～11月22日（水）

入場者数630名

R6年度：令和6年11月15日（金）～11月20日（水）

入場者数595名

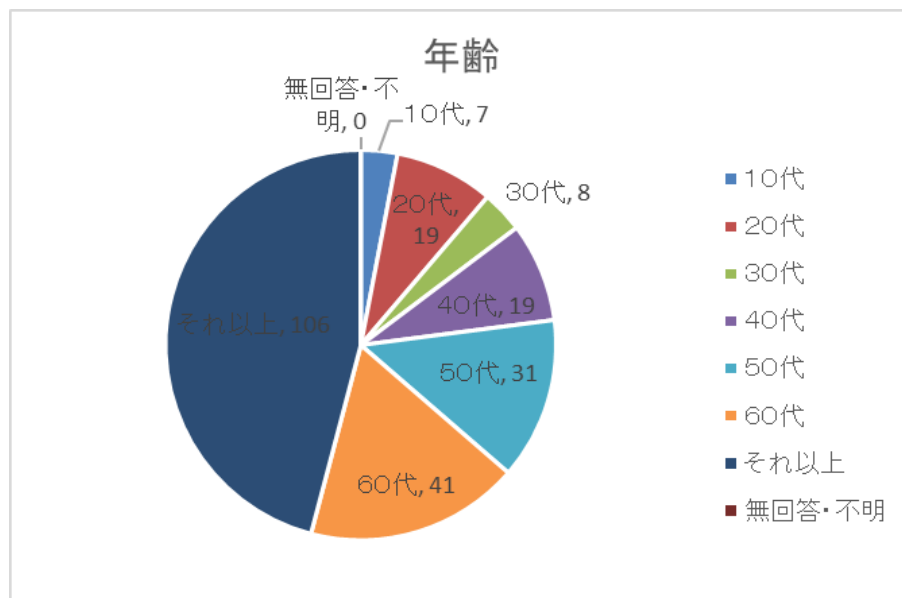
準備の流れやポイント

- ・ 本会写真展と仙台市医師会医科芸術祭の両方に出展する先生の作品については、まとめて展示会社に集荷を依頼することで出展される先生の負担を軽減している
- ・ 休憩スペースで日本医師会作成の動画を流して、医師会活動への認知度向上の機会を設けている
- ・ 県庁内の県政記者会に開催案内とチラシを送付することで新聞等への情報掲載をお願いしている

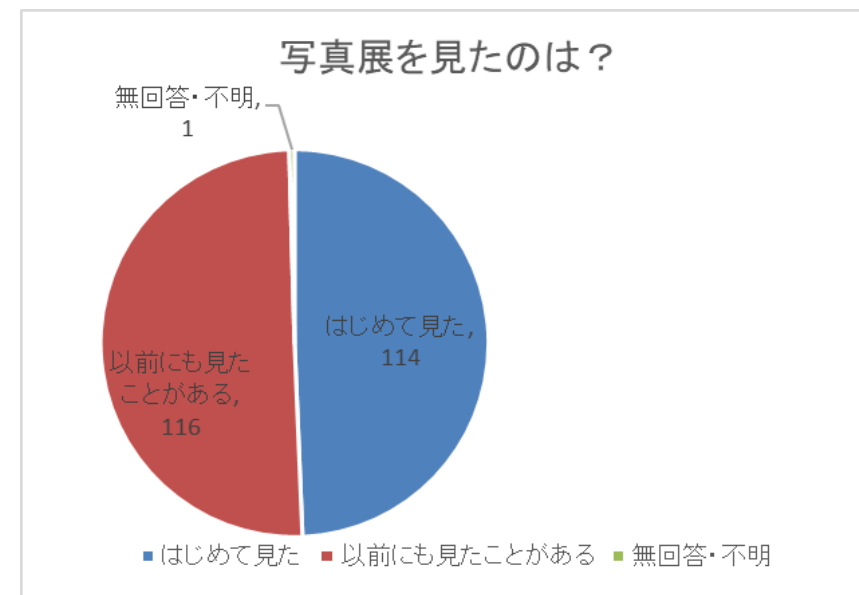
当日の様子



参加者の属性（令和6年度データ）

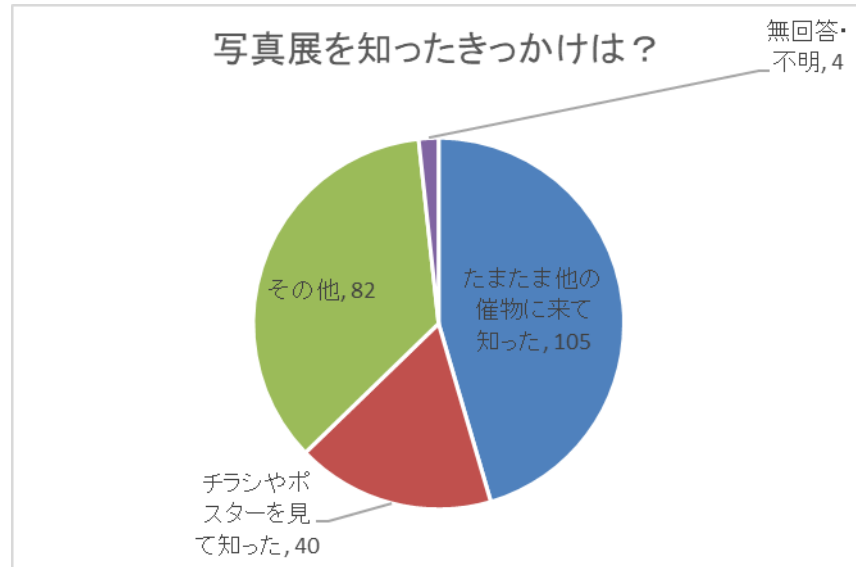


50代以上が75%以上を占めている

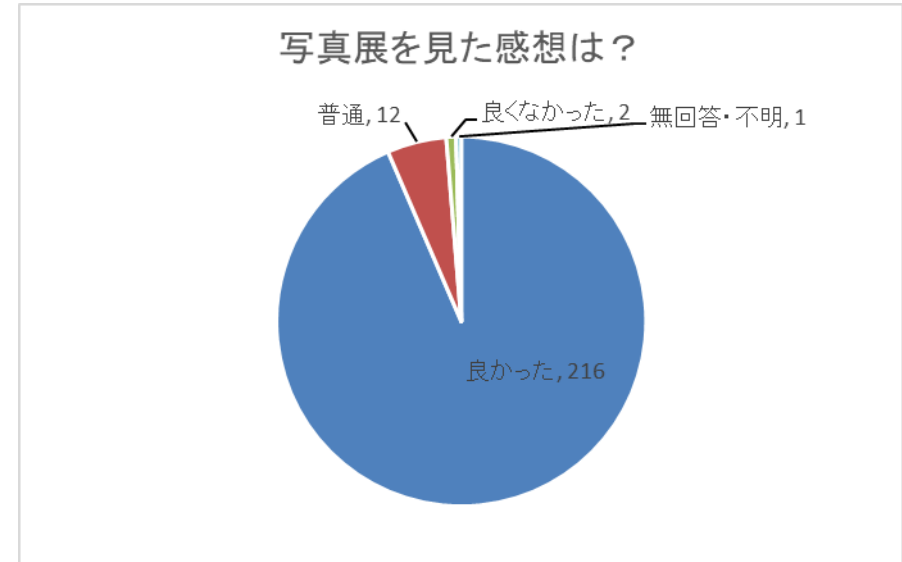


初めての方と過去に来場いただいた方は半々程度になっている

参加者の属性（令和6年度データ）



他の催事から流れてくる方も多い



おおむねご好評をいただいている

アンケート自由記載欄（抜粋）

- ・先生方は休みがない方もいて大変だと思います。休みを取れた際に作品を作っているのでしょうか。体に気を付けてください。
- ・お忙しい中、絵画や写真で体を休めて頑張ってください。
- ・医師会の皆さまお疲れ様です。毎年、一筋縄ではいかない事例の多くを地道に活動されている姿は本当に天晴だと思います。その一端の人間として、生命のぬくもりを見ていけたらと思います。
- ・このような写真展を初めて見ましたが、このような芸術的作品を展示・公開する活動にはとても魅力があるように感じました。

上記のような感想の他、医師会に対する意見や要望の記載があった

今後の課題

- ①入場者は高齢の方が多いため、今後も継続していくことを考えると、若年層の取り込みが必要になってくると思われる
- ②本会会員からの出展数が年々少なくなっているため、出展いただける先生へのアプローチも必要になってくる